

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

都市建設課

件名	佐賀県遺産に認定された「鹿島城址にのこる松蔭神社」の佐賀県遺産認定授与式が行われます
アピールポイント	佐賀県まちづくり課主催で令和4年2月1日付けで佐賀県遺産に認定された「鹿島城址にのこる松蔭神社」の佐賀県遺産認定授与式が下記のとおり開催します。
説明	1 日時 令和4年(2022年)4月20日(水曜日)10時00分～ 2 場所 松蔭神社 社務所内(鹿島市大字高津原460) 3 会次第 (1)開会 (2)まちづくり課長挨拶 (3)認定証授与 (4)所有者挨拶 (5)閉会
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	建設環境部都市建設課
氏名	岡 秀和
TEL	0954-63-3415
FAX	0954-63-2313
Mail	toshi@city.saga-kashima.lg.jp

第22回佐賀県美しい景観づくり審議会 佐賀県遺産認定箇所

申請者	佐賀県遺産名	所在地	概要
鹿島市長	<small>かしまじょうし</small> 鹿島城址に <small>まつかげじんじや</small> のこる松蔭神社	鹿島市大字 高津原460	<p>松蔭神社は鹿島城址の一画に設けられており、1633（寛永10）年に初代鹿島藩主鍋島忠茂が祀られたことに起源をもつ。1741（寛保元）年に現在の北鹿島常広地区に松蔭神社が創建されて以来、歴代藩主の霊神が合祀され続けた。1804～1818年（文化年間）に鹿島城の移転とともに現在の高津原に移転した。藩政期における城の新築移転は珍しく、背景には度重なる洪水被害からの復旧に莫大な財政負担がかかっていたこと、外国船が頻繁に日本近海に現れる不穏な情勢の中長崎近辺の海防を意識していたことがあると考えられる。神社周辺には石垣や環濠など城時代の面影が残る。</p> <p>佐賀県遺産に認定されたのは本殿、幣殿、拝殿、石垣、鳥居、石灯籠、狛犬の7件。</p> <p>松蔭神社周辺の一帯は「旭ヶ岡公園」として整備されており、県内有数の桜の名所。春には多くの花見客でにぎわう。</p>
			



令和4年4月15日

まちづくり課 景観担当

担当者 真崎、志水

内線 2668 直通 0952-25-7326

E-mail: machizukuri@pref.saga.lg.jp

佐賀県遺産認定証授与式を開催します

佐賀県では、県民の郷土に対する誇りや愛着を育み、活力あるまちづくりを図るため、地域の宝となっている“美しい景観の地区”や“地域を象徴する建造物”を、22世紀へ残していくべきものとして「佐賀県遺産」に認定し、その保存及び活用の支援を行っています。

この度、令和4年2月1日に認定した「鹿島城址にのこる松蔭神社」について、認定証授与式を開催致します。

記

1 日時

令和4年（2022年）4月20日（水曜日）10時から

2 場所

松蔭神社 社務所（鹿島市大字高津原 460 旭ヶ岡公園内）

3 参加者

佐賀県遺産所有者代表（祐徳稲荷神社 宮司 鍋島朝寿）
申請者（鹿島市）等

4 次第

（1）開会

（2）まちづくり課長挨拶

（3）認定証授与 佐賀県県土整備部まちづくり課長 天本貴子

（4）所有者挨拶 祐徳稲荷神社 宮司 鍋島朝寿

（5）閉会

なお、取材を御希望の場合は、恐れ入りますが担当者まで御連絡ください。